

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	平成30年11月2日(金) 14時00分から16時00分
会 場	鍋横区民活動センター 洋室 1号
テ ー マ	子育てしやすい地域づくり
出席者 区 民	計 18人 (男性2人、女性16人)
区 側	区長 政策室副参事(企画担当) 政策室副参事(基本構想担当) 南部すこやか福祉センター副参事(地域支援担当) 地域支えあい推進室副参事(子ども施設調整担当) 地域支えあい推進室副参事(地域活動推進担当) 子ども教育部副参事(子育て支援担当)
事務局	企画分野職員3人、業務マネジメント改革分野職員1人、区民活動センター職員1人、地域支えあい推進室職員5人
一 時 保 育	有
手 話 通 訳	無

テーマ「子育てしやすい地域づくり」

関係部署 地域支えあい推進室

区長あいさつ

6月の区長選挙では、中野を子育てしやすい子育て先進区にしていきたいという話をした。中野はこれまで地域が子育ての中で力を発揮してきたという歴史がある。その地域の力をもっと出していくにはどうしていけば良いか。また、地域の人達の目が届かないような人に対して、行政と地域が一緒になってどのようにそのような人たちを支えていくのか。学校教育、保育園の待機児童対策等多岐に渡るが、それらを区としてトータルで施策としてしっかり進めていくことで、23区の中でも中野は子育てしやすい区とさせていただき、またそのことを発信してもらえそうな街づくりをしていきたい。忌憚ないご意見を頂きたい。

各グループの発表概要

■保育園待機児童関連

- ・働く母親が増えている一方、相変わらず保育園の順番待ちが続いている。
- ・中野の南側、特に鍋横地区は保育園がまだまだ少ないため、ニーズのある場所に優先的に整備をしてもらいたい。
- ・一時保育やファミサポは電話が繋がりにくく、利用料についてももう少し下げてもらいたい。
- ・民間のボランティアであるママサポを利用したいが電話が繋がりにくく使い勝手が悪いので、早期に解消してもらいたい。

■施設について

- ・小学校の統合については10年前に策定した計画当初と現在では変化があると思う。地域の実態把握と検証をしてもらいたい。
- ・キッズプラザだけでなく、児童館も残してほしい。
- ・現状の学童クラブは定員が少ないことに加えて狭いなど環境も悪い。働く母親にとっては小学校3年生まで預けたいので、環境の整備や場所の確保を行ってほしい。
- ・幼稚園は少なく、また預かり時間も短いところが多いので、8時から18時半まで伸ばしてもらえたら預けながら働けるのでありがたい。
- ・幼稚園と幼稚園の今後の見通しについてお聞きしたい。
- ・子育て広場を集約すると乳幼児の行き場がなくなってしまう。子供の遊び場としてだけでなく母親同士の悩み相談や情報交換の場でもあり、地域の子ども達とその地域で遊ばせたいという思いもあるので、可能であれば地域ごとに設置をしてもらいたい。
- ・U18が廃止されるということなので、プライバシーのことも配慮した中高生の居場所を確保してほしい。
- ・現在ある児童館や施設は歴史的な価値もあるので取り壊さないでほしい。
- ・大きくて便利な施設があっても、そこに行くまでが大変だと小さい子どもを持つ親としては使いにくい。小さくても良いので地域に施設があることで地域の中での交流が生まれ、情報交換が行われると思う。

■公園について

- ・ボール遊びや野球、サッカーができないといった禁止事項が多いので見直してもらいたい。
- ・公園のブランコについては、座る箇所が一般的な平たい物より、幼児の身体を前後からサポートするようなタイプの物を設置してもらえると嬉しい。

■町のバリアフリー化について

- ・中野区は駅も含めてエレベーターが少ないことに加えて、道路も段差が多くベビーカーや車椅子が押しにくいので、全体的に見直してほしい。

■地域における繋がり・交流

- ・少子高齢化や核家族化が進む中で、子どもが高齢者と接する機会が少なくなっている。高齢者やハンディキャップのある方に対しても思いやりの気持ちを持てるように、小さい頃から地域の人たちと交流できる機会や場所の提供を区としても協力してもらいたい。
- ・子育てに地域に関わりたいと思っても、子どもがいない夫婦や単身の人はどう関わっていけば良いか分からないのが現状であり、知らない団体に行くのにも壁があるように感じている。
- ・個人の繋がりが薄れていることに加えて、地域で担っている活動の後継者が少ないため、今あるものをどう受け継いでいけば良いかという問題がある。
- ・少しの時間を繋ぐウェブサイト「ちょいボラ(ちょっとだけボランティアできる仕組み)」を区民と行政が一緒に作ることを提案する。若い人にも機会の提供に繋がり、その先に地域内の交流も生まれてくるのではないかと。

■学校教育について

- ・学校側が押し付けるのではなく、小学校は居心地の良い、子どもが伸びるような教育を区としても考えてもらいたい。また、中野区は学校教育に対する予算が少ないと聞いているので見直してもらいたい。

■その他

- ・多くの子育て世代に参加してもらいたかったが、周囲に聞くと子どものお昼寝時間と重なっているため参加できないという声が多かった。今後は子育て世代も参加しやすい時間(午前中)や場所で実施してほしい。
- ・緑や施設を増やすのは時間もお金もかかる。地域を思いやりのある場にしていくために、今できることとして、まずは挨拶から大事にしていく必要があると考えている。

発表に対する区長のコメント

■保育園待機児童関連

- ・中野の南側は待機児童が多い一方、保育園用地は少ない。ニーズがあることは把握しているので、今後も重点的に整備を進めていきたい。
- ・現在私立認可保育所は約40園、それ以外にも0～2歳児まで利用できる小規模保育も15施設と増えている。保育園の今後については、これからも力を入れて待機児童対策を行なっていく予定である。
- ・保育園での一時保育については、一部利用率が低い側面はあるが、予約が取りづらいという意見は受けている。需要調査を踏まえ、新しくできる園の中で一時保育が実施できるように整備していく。
- ・ファミサポの登録講習会は現在先着順の利用申込みである。また、協力会員よりも利用会員が圧倒的に多い。今後は協力会員を増やす取り組みが必要だと考えており、社会福祉協議会とともに検討していきたい。

■施設について

- ・小学校の統合については、子どもの数と今後の予想についても一度数字を出し直して検討していきたい。
- ・キッズプラザで需要の全てがまかなえるとは思っていない。児童館機能は必要だと考えているので一定数残していく。
- ・私立幼稚園の預かり保育で、園の行事がある場合は受け入れができないという話も聞いている。中野区は私立幼稚園の数が多いので、預かり保育ももう少し時間を伸ばしてもらえるように働きかけていきたい。
- ・将来的に人口が減っていくので、施設も次第に減らしていかなければいけない。現状の施設数を維持した場合、将来的に財政が破綻するというシミュレーションが出ている。今後はどこを削っていくかの優先順位を付ける難しい判断が求められる。近くに小さい施設を残すのか、魅力的な施設を作って小さい施設を集約していくのかについては様々な意見があるので、今後、基本構想や施設管理計画の検討の中で区民の意見を聞きながら決めていきたい。

■公園について

- ・区は大きい公園が少ない代わりに小さい公園が100か所近くある。近所の人たちの苦情から公園内での禁止事項が多くなっているという経緯があるので、ルール作りをしていきたい。
- ・今回本町2丁目に新しく公園ができて、近隣の公園の周りからもたくさんの人に来てもらっている。子供の遊び場については、今後もこのような場所を増やしていきたい。
- ・公園の遊具についてどういうニーズがあるか区では把握しづらいので、色々な人に意見を聞いて魅力ある公園作りを行っていきたい。

■町のバリアフリー化

- ・現在、中央線の東京から立川間でエレベーターがない駅は、御茶ノ水と中野しかない。中野駅は西口にしかエレベーターが設置できず、西口の場所の確保の工事は今始まった。概ね8年後には設置ができると考えているが、鉄道事業者と協力して早期竣工を目指していく。

■地域における繋がり・交流

- ・イベント等の地域の人たちが繋がる機会を増やしていくことで、地域の中で孤立する人達がない社会を目指していきたい。オレンジカフェや子ども食堂についても、区としては金銭的な支援だけでなく、人と人を繋げるコーディネーター役を担っていければと考えている。
- ・現在NPOや民間のボランティア等の皆さんに多くのことを支援していただいている。行政がすべてその活動を行うことはできないので、区は民間や地域の方が行う活動を支援する立場であるが、施策としてはまだ弱い面がある。今後は民間や地域の方が行う活動を更に広げていくためにどのように支援していくべきかを検討していきたい。
- ・現在、まなびばネットの中にはボランティア募集のページもあるがあまり活用されていないので、ご提案いただいた「ちょいボラ」は仕組みづくりを検討していきたい。区としても、町会、民生児童委員等の地域の後継者不足は問題として把握しているので、需要と供給のマッチングをスマホやホームページで気軽にやれるような仕掛けは必要だと考えている。区はお金やシステムの提供を行い、運営は区民の方をお願いして活気が失われないようにするなど、どのようなやり方が良いかについてはこれから検討していきたい。

■学校教育について

- ・中野区は子ども一人あたりの教育費は23区の中で下から2番目で、小学校に回る予算が少ないのは事実なので、今後見直していきたい。
- ・区は基本構想の中で子どもの権利条約について記載しており、子どもを育てるときに何を大切にしていけるかの検討は来年度から行っていく予定である。

■その他

- ・今後子育てをテーマに開催する際には、時間を午前中も組んでいきたい。個人的には、次回は児童館で行えればと考えている。タウンミーティングについても、普段区政に関心がない人も参加してもらえるように手法を工夫していきたい。
- ・一部の小学校では挨拶を徹底していて一定の効果が出ていると聞いているので、今後もそのような取り組みを推奨して、挨拶を基本としたコミュニケーションの重要性を周知していきたい。